

松居(富山)自由形3冠



けが克服 練習頑張り快挙



50、200自由形
男子2000級自由形は、松居颯真(富山・ナントSC)が2分08秒84と、2位に5秒以上の大差をつけて優勝。500級自由形も26秒54で制し、四日の1000級自由形と合わせて、同種目で三冠を達成した。快挙の一方、大会新を出せなかったのは悔しい。もつと持久力を高めたいと改善点も口にした。

四月、右肘を剥離骨折し、約一カ月間はキックの練習しかできなかった。五月下旬の本格復帰後も持久力やスピードの低下に焦りはあったが、必死にレース感覚を取り戻そうと練習を積んできた。「泳がない時期は本当につらかった。でも、けががあったからこそ頑張ることができた」

五輪に出場し、世界新記録を出すのが将来の夢。「萩野公介選手のように、全部の種目で速く泳げる選手になる」と飛躍を誓った。

男子2000級自由形で優勝した松居颯真選手(富山・ナントSC)。いずれも浜松市総合水泳場トビオで

とびうお杯 最終日

「とびうお杯」第三十三回全国少年少女水泳競技大会は最終日の五日、競泳の男女十二種目と飛び込みの予選と決勝があり、競泳では県勢選手の入賞が相次いだ。大嶽杏奈選手(ルネサンス沼津)が女子2000級自由形で三位、女子500級自由形で五位とダブル入賞を達成。阿部りり香選手(とちぎSS)は女子500級背泳ぎで三位入り、四日に続き二連覇での表彰台などに活躍した。競泳決勝は前日に続き、予選一八位による「A決勝」と九一十六位による「B決勝」に分けて行われた。



男子500級バタフライで優勝した町山哲太選手(千葉・EAST)

町山(千葉)コーチらに感謝のV

50バタフライ
男子500級バタフライで優勝した町山哲太選手(千葉・EAST)は、ベストタイムを1分06秒も更新して優勝をつかみ取った。「まさか一位になれるとは思っていませんでした。コーチや友達のおかげ」と感謝の言葉を述べた。

奥(S東)後半耐え8位
男子500級バタフライで八位入賞の奥大輝選手(東部SS)は、予選で同タイムとなった選手との抽選の末の決勝に進出した。「運良く出られてよかった。緊張もせず、ベストも出たのでいいレースだった」と満足げ。前半は楽に入って、後半耐えるレースを心掛けたという。

今回のとびうお杯では、リレーを含め五種目に出場し「きつかったけど、全国の高いレベルがわかってよかった」と話し「ほかの選手たちと競い合えるよう、体力強化をしたい」と課題を挙げた。

大島(愛知)ライバルも得て2冠



50背泳ぎ
前日の1000級に続き、男子500級背泳ぎも優勝した大島佑互(ゆづ)選手

50平泳ぎ
男子500級平泳ぎで優勝した鎌田望琉人選手(富山・高岡SC)



「バワーが持ち味」と言うように、最初から積極的に水をたたえるのが苦手で、水がこぼれるのを苦手にしたが、コーチからのアドバイスを守った結果、好タイムをつかみ取った。「最後まで粘ったのは次に繋がるとは思っていませんでした。コーチや友達のおかげ」と感謝の言葉を述べた。

鎌田(富山)積極的に攻め金2個目



50平泳ぎ
男子500級平泳ぎで優勝し、4日の1000級平泳ぎと合わせて2冠を達成した鎌田望琉人(みこと)選手(富山・高岡SC)

チームワークで競り勝つ 名鉄SS刈谷



200メドレーリレー
男子2000級メドレーリレーは、名鉄SS刈谷(愛知)が、右隣を泳ぐ二位のあかやまSS(茨城)に0秒02の僅差で競り勝った。最終泳者の中野和真選手は「横に迫っているのが見えなかった。気持ちで絶対に負けたくなかった」と振り返った。

力の第一、二泳者でいね。目標にする」と声をかけられた。「いいライバルができた。金メダルだった。」「」と喜んだ。

「ハワーが持ち味」と言うように、最初から積極的に水をたたえるのが苦手で、水がこぼれるのを苦手にしたが、コーチからのアドバイスを守った結果、好タイムをつかみ取った。「最後まで粘ったのは次に繋がるとは思っていませんでした。コーチや友達のおかげ」と感謝の言葉を述べた。

東京SCが 男女総合V



男子2000級メドレーリレーで優勝した名鉄SS刈谷の(左から)村佐達也、山下哲平、岩田拓人、中野和真の各選手

競泳の総合は、男女ともに東京SCが優勝を飾った。女子は十連覇、男子は三連覇を達成。四十八人の選手たちは記念撮影で、笑顔で喜びを分かち合った。

女子は2000級リレーと2000級メドレーリレーの団体種目を制した。いず

鶴田(高知)粘るも7位 B決勝



飛び込み
一三位の点差は3.55点という接戦になった男子飛び込みは、瓶子礼智(高知SSC)が制した。決勝の三

決勝で会心の入水
瓶子(高知) 技決め接戦制す

本は体を真っすぐ伸ばした状態で入水をしつかり決め「ベストを出せた」と話した。

決勝二本目までの合計点で、二、三位が入り替わった。直接に飛んだ瓶子選手は「抜かれる」と緊張したが、「前に飛び体を丸め、後ろに」回転する技を決めて首位を保持した。

コーチで母親の笑み佳さん(高知)は「まさか優勝するとは」と驚く。瓶子選手は金メダルを首にかけてもらった時、表彰台の上でこう感じたという。「やっぱり全国一位はいい」

飛び込み男女ともに優勝した瓶子礼智選手と柳川小真選手(高知SC)

飛び込み



男子飛び込みで優勝した瓶子礼智選手(高知SC)

飛び込みの優勝にも貢献した荒木祥花選手が個人三種目でも優勝し、チーム全体で2000級を獲得。二位を1100点突き放す圧勝だった。

一方で絶対的エースが不在だった男子だが、2000級リレーの団体二種目で三位に入ったほか、個人種目でも上位入賞を重ね、計13点で頂点を占めた。計13点で頂点を占めた。計13点で頂点を占めた。

山本亮太(とちぎSS)は「女子は危なげなく、男子も優勝できてひと安心。来年も良い成績を残せるように頑張りたい」と話した。

男女総合優勝を決めた東京SCの選手たち

| 男子の決勝記録 | |
|-------------------|-------------------------|
| 競 | 泳 |
| ▽500級自由形 | |
| ① 26秒54 | 松居 颯真 (富山・ナントSC) |
| ② 26秒96 | 今枝 海斗 (静岡・島田チャンプ) |
| ③ 27秒18 | 佐藤 龍之介 (宮城・ニスボ仙台南) |
| ④ 27秒27 | 有本 凜迦一 (和歌山・アリスSC) |
| ⑤ 27秒55 | 今井 柊介 (埼玉・ユア一蔵) |
| ⑥ 27秒75 | 渋谷 琉玲亜 (佐賀・ようどう館佐) |
| ⑦ 27秒98 | 大野 心聖 (茨城・あかやまSS) |
| ⑧ 28秒14 | 平林 侑鳥 (和歌山・アリスSC) |
| ▽2000級自由形 | |
| ① 2分2秒84 | 松居 颯真 (富山・ナントSC) |
| ② 2分7秒85 | 今井 柊介 (埼玉・ユア一蔵) |
| ③ 2分8秒99 | 渋谷 琉玲亜 (佐賀・ようどう館佐) |
| ④ 2分10秒56 | 西川 我咲 (愛知・KL春日井) |
| ⑤ 2分10秒61 | 佐藤 龍之介 (宮城・ニスボ仙台南) |
| ⑥ 2分12秒53 | 有本 凜迦一 (和歌山・アリスSC) |
| ⑦ 2分12秒59 | 今枝 海斗 (静岡・島田チャンプ) |
| ⑧ 2分14秒93 | 市川 大樹 (神奈川・ウォーターメイ) |
| ▽500級平泳ぎ | |
| ① 33秒35 | 鎌田 望琉人 (富山・高岡SC) |
| ② 34秒02 | 高橋 利駆 (東京・マリン西新井) |
| ③ 34秒10 | 山下 哲平 (愛知・名鉄SS刈谷) |
| ④ 34秒14 | 稲垣 龍之介 (愛知・イトマン春日井) |
| ⑤ 34秒41 | 戸谷 柊太 (和歌山・バルポート彩の台) |
| ⑥ 34秒56 | 小林 大洋 (東京・東京SC) |
| ⑦ 34秒99 | 加藤 聖登 (埼玉・ヒューマンみさと) |
| ⑧ 35秒19 | 矢野 拓都 (埼玉・ユア一蔵) |
| ▽500級背泳ぎ | |
| ① 30秒79 | 大島 佑互 (愛知・みなとSS) |
| ② 31秒39 | 赤尾 駿弥 (滋賀・イトマン堅田) |
| ③ 31秒43 | 大倉 凜佑 (兵庫・姫路スポーツ) |
| ④ 32秒16 | 山本 勘太郎 (茨城・ささはら塾) |
| ⑤ 32秒46 | 塩田 直也 (東京・東京SC) |
| ⑥ 32秒86 | 藤本 笠斗 (滋賀・イトマン草津) |
| ⑦ 33秒11 | 鈴木 崇弘 (愛知・豊橋SS) |
| ⑧ 33秒27 | 村佐 達也 (愛知・名鉄SS刈谷) |
| ▽500級バタフライ | |
| ① 28秒88 | 町山 哲太 (千葉・EAST) |
| ② 28秒90 | 綱嶋 佑介 (長野・ナガデン中野) |
| ③ 29秒24 | 風間 心来 (山梨・ブルーアース石和) |
| ④ 29秒32 | 大野 心聖 (茨城・あかやまSS) |
| ⑤ 29秒74 | 土方 通斗 (愛知・平針SS) |
| ⑥ 29秒79 | 荒川 航汰 (東京・新代田SS) |
| ⑦ 29秒97 | 西小野 泰志 (鹿児島・メルヘン鹿屋) |
| ⑧ 30秒10 | 奥 大輝 (静岡・東部SS) |
| ▽4×500級メドレーリレー | |
| ① 2分7秒08 | 愛知・名鉄SS刈谷 (村佐、山下、岩田、中野) |
| ② 2分7秒10 | 茨城・あかやまSS (深野、津田、大野、和田) |
| ③ 2分7秒53 | 東京・東京SC (仙北谷、小林、千葉、塩田) |
| ④ 2分8秒95 | 茨城・ささはら塾 (山本、菅野、赤木、松井) |
| ⑤ 2分11秒00 | 兵庫・姫路スポーツ (大倉、板橋、西川、藤尾) |
| ⑥ 2分11秒35 | 兵庫・塚口SS (登、大槻、大宮、杉本) |
| ⑦ 2分12秒88 | 神奈川・神奈中SS (斎藤、大幸、君島、今西) |
| 【総合】 | |
| ① 東京・東京SC | 113点 |
| ② 茨城・あかやまSS | 79点 |
| ③ 埼玉・ユア一蔵 | 73点 |
| ④ 愛知・名鉄SS刈谷 | 69点 |
| ⑤ 兵庫・姫路スポーツ | 65点 |
| ⑥ 愛知・平針SS | 64点 |
| 飛び込み | |
| ① 瓶子 礼智 (高知・高知SC) | |
| ② 八木 魁斗 (宮城・宮城DC) | |
| ③ 茶木 志星 (大分・大分DC) | |
| ④ 浅田 律 (石川・小松DC) | |
| ⑤ 神田 新 (佐賀・佐賀DC) | |
| ⑥ 池田 寛人 (大分・大分DC) | |
| ⑦ 津野 実礼 (沖縄・沖縄DC) | |
| ⑧ 池谷 世羅 (静岡・トビウオ) | |
| 【総合】 | |
| ① 大分DC | (大分・9点) |
| ② 高知SC | (高知・8点) |
| ③ 宮城DC | (宮城・7点) |
| ④ 小松DC | (石川・5点) |
| ⑤ 佐賀DC | (佐賀・4点) |
| ⑥ 沖縄DC | (沖縄・2点) |

